

春の洞爺湖に左党大集合

洞 爺湖温泉の活性化を目指し、観光シーズン間直のこの時期に開かれてきた銘酒まつり(主催銘酒クラブ)が、今年9回目を迎え、4月8日洞爺観光ホテルで開催されました。

今年も全国の蔵元を迎えて、地酒、ワイン、ビール、カクテルの飲み比べに地元を始め札幌や小樽、室蘭などから約250人が参加していました。

そのほか銘酒の郷の仕込み水と洞爺湖温泉の水道水との利き水対決やビール対発泡酒対第3のビールの飲み比べなど多種多



各蔵元のコーナーに並ぶ参加者

様な企画に、集った左党も大満足の様子でした。

救命士大西靖さん

管内第1号となる薬剤投与の資格取得



町内における救急救命の向上を担う大西さん

4月から救急救命士法の一部改正で、救急救命士が現場などで強心剤「エピネフリン」の投与が認められるようになり、西胆振消防組合洞爺湖消防署の救急救命士・大西靖さんが胆振管内では第1号となるその資格を取得しました。

強心剤「エピネフリン」は、心肺停止の状態を心臓などに再度血液を集中させて心臓の再開を助ける薬剤で、従来は医療行為として医師のみが認められていましたが、今回の改正で、資格を得た者が医師の指示の下で投与ができることになりました。

大西さんは、「一人でも社会復帰できる人を救いたい」とその使命に意欲を燃やしています。

まちのよたひ

サービスの向上はまちづくりから ビジネスマナー基本講座

毎

年観光シーズンを前に開催されているビジネスマナー



熱心に学ぶ受講者

基本講座(主催虹田町商工会)が今年も4月13日洞爺湖文化センターで、きやりあ工房代表の田崎悦子さんを講師に招き行われました。当日は、各ホテルからの新入職員も含めて約60人が参加。

田崎さん自身が経験したホテルでの対応を例に具体的なフロントサービスのあり方について講演され、自分の住んでいる町が好きにならなければ、旅行に來ているお客様に紹介したり、サービスすることはできない」とサービスの基本は「町づくりである」と強調していました。

虹田高校生

洞爺湖温泉街清掃ボランティア活動



薬師の湯を磨く虹高生

4月13日虹田高校の商業科2年生16人が、洞爺湖温泉の

清掃活動を行い、観光シーズンを迎える温泉街の美化に一役買いました。

同校は、札幌国際大学との提携で、観光一般という授業を設置し、観光やマーケティングについて勉強しています。

当日は、その授業を取っている生徒が、観光を勉強する基本として、自分たちの町の中にある観光地・洞爺湖温泉街をきれいにしようと実施。温泉のメイン道路である道道や町道のゴミ拾いや洞爺の湯、薬師の湯をきれいに磨き上げました。